

第37回 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場生活環境影響調査評価委員会 諮問事項 修正内容一覧

修正箇所	修正前	修正後（朱書き部が修正部分）
<p>○資料2 27ページ 2.4 環境モニタリングの評価（総括）</p>	<p>(略)</p> <p>■ 処分場内の観測井戸の地中温度については、令和4年12月調査時よりNo.5地点が上昇傾向にあり、周辺のLoc.1aと比較して前年度の同期間よりも差が増大している。その他の地点については、周辺のLoc.1aと比較して前年度の同期間よりも差が縮小しており、埋立区域内のほとんどの観測井戸では横ばいか低下傾向を示す。一部観測井戸ではガスの発生が依然として認められ、また、他地点と比較し硫化水素やメタンが高い濃度を示す地点も確認されることから、廃棄物埋立区域内では、微生物による廃棄物の分解反応が継続しているものと考えられる。また、処分場内の浸透水では、BODが廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準を超える地点、ほう素、ふっ素、ダイオキシン類が環境基準を超える地点があることなどから、処分場内はまだ安定した状況には至っていないと考えられる。</p>	<p>(略)</p> <p>■ 処分場内の観測井戸の地中温度については、令和4年12月調査時よりNo.5地点が上昇傾向にあり、周辺のLoc.1aと比較して前年度の同期間よりも差が増大している。その他の地点については、周辺のLoc.1aと比較して前年度の同期間よりも差が縮小しており、埋立区域内のほとんどほとんど大部分の観測井戸では横ばいか低下傾向を示す。が、令和4年12月調査時よりNo.5地点の地中温度が上昇した。一部観測井戸ではガスの発生が依然として認められ、また、他地点と比較し硫化水素やメタンが高い濃度を示す地点も確認されることから、廃棄物埋立区域内では、微生物による廃棄物の分解反応が継続しているものと考えられる。また、処分場内の浸透水では、BODが廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準を超える地点、ほう素、ふっ素、ダイオキシン類が環境基準を超える地点があることなどから、処分場内はまだ安定した状況には至っていないと考えられる。</p>